

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司



西
山
宗

平成17年住職年頭挨拶

謹賀新年

「大慈悲心」

現在日本の国家、家庭、個人いずれもが確固たる目標と目的を定めにくく、その場限りの対処で流されていってしまっているように思えてなりません。きちんとした骨格を持った精神が打ち立てられず、価値観は多様化し崩れ、皆ものがき悩んでおります。

私達は先人の労苦のお蔭で世界一物質的に豊かになった。しかし、その代償として、國や民族の将来を思う心、我慢して耐える心、お互いに思いやり助け合う心、親や周りの人々に感謝

する心。そういった人間として最も大切で必要な心を忘れてきてしまっていないだろうか？

今こそお釈迦様の説いた大慈悲心が切実に求められています。仏法興隆の旗を高く掲げて、檀信徒の皆様と心を合わせて、一步一步努力して参ります。本年も宜しくお願いいたします。

三十一世 大頭啓司



平成17年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1 年頭祈禱
- 1/3~1/4 年始挨拶
- 2/3 大節分会
- 2/15 涅槃会
- 3/13 大般若会/大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- 4/8 花祭り
- 7/13~7/16 京浜地区盂蘭盆会
- 7月下旬 子ども禪の集い
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- 12/8 成道会
- 12/31 除夜会
- 毎週土・日曜日 書道教室
- 毎週水曜日 定期坐禅会
- 隔週水曜日 華道教室・梅花講稽古

平成17年 年回表

一周忌	平成十六年	二十三回忌	昭和五十八年
三回忌	平成十五年	二十七回忌	昭和五十四年
七回忌	平成十一年	三十三回忌	昭和四十八年
十三回忌	平成五年	五十回忌	昭和三十一年
十七回忌	平成元年	百回忌	明治三十九年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
 ※2 該当檀信徒各家にはハガキにて通知が届きます。

寺史編纂室通信-11-

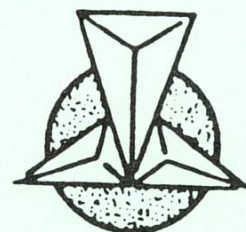


↑ 仏具（写真は160センチ以上もある江戸期の日栢位牌）の調査

当寺報でも何度か取り上げました『仁叟寺史』の編纂作業が大詰めを迎えております。平成13年に同編纂委員会が発足して以来、地道に古文書の解説、文物などの調査、他御寺院さまなど関係機関への取材を行って参りました。

先月には吉井町教育委員会に文化財の変更申請書を提出。火災に遭うことなく室町期より法燈を伝えてきた古刹に相応しい多くの貴重な歴史的史料が登録されるかと思われま

す。寺史は、今年には完成の運びになるかと思われま。賛助金も多く集まりましたが、まだ若干の未納の方もおります。お寺より後定です。尚、全檀家必ずお願い申し上げます。



参道拡張工事開始

仁叟寺の参道（北シメ木一号线）の拡張工事が昨年11月より行われております。工事期間中は迂回路をご利用下さい。施工者は(有)江原建設で工事期間は今年三月末までの予定です。

今回の工事で道路が拡張され、観光バスも当寺駐車場に入って来れるようになります。当寺は新上州観音霊場、南毛観音霊場など計4ヶ所の霊場に指定されており、また学校、企業などの坐禅会など今まで多くの参拝団をお迎えいたしております。バスの駐車場がネックでありましたが、この問題も解決できると思っています。

特に参道は寺院の表玄関にあたります。一新される参道にどうぞご期待ください。



↑ 拡張工事中の仁叟寺参道

しんにゅうだんか

新入檀家紹介

昨年に仁叟寺に入檀いたしました方々を紹介いたします。



藤岡	齋藤 丈夫	東京	金田 朝美
高崎	篠崎 君子	吉井	鈴木 勲治
中島	山本 一枝	吉井	吉田 義男
高崎	篠崎 儀久	高崎	三木 光治
高崎	田邊 榮吉（眞）	吉井	井上 藤男（眞）

仁叟寺探索-9-

今回の仁叟寺探索では、新上州観音霊場の第十八番札所にも指定されている千手観音菩薩立像を紹介いたします。同観音菩薩たごひ ひつじたゆうは多胡碑で有名な羊太夫の守本尊で、奈良の大仏で有名な僧行基の作と伝えられております。元々は仁叟寺末寺の観音寺（吉井やつか はいぶつきしゃく町八束）に安置されておりました。明治期の廃仏毀釈と火災のため、観音寺は廃寺。現在、観音像は当寺わきじに移動し、本堂脇の観音堂に脇侍六仏と共に安置してあります。

また前述した新上州観音霊場の他に、南毛観音霊場、坂東観音霊場の各札所にも指定されており、巡礼参拝者が多数お参りに訪れております。以前は秘仏であり年一度の御開帳の際でないと参拝はできませんでした。当寺に来られた際には是非とも、この霊験あらたかな観音様にお参り下さい。



13、14教区梅花講研修会

去る10月13日（水）に檀信徒会館「欣光閣」に於きまして、梅花講の研修会が行われました。当日は、群馬県宗務所の梅花部長を務めておられる安中市の海雲寺ご住職土屋老師の丁寧なご指導の下、13教区（甘楽富岡地区）14教区（多野藤岡地区）合同の講習となりました。

午前10時から午後3時過ぎまで、みっちりご指導を賜り、更に他寺院様の梅花講講員の皆様方との交流も図れたかと思えます。

また、行持などがある際には、是非とも練習の成果をご披露して頂きたく思っております。なお、当梅花講では引き続き講員を募集しております。稽古日は隔週水曜日の午後1時半から4時ごろまで。現在の講員は

→ 熱心に講義を聞く



12名で和気藹々と稽古に励んでおります。参加お問い合わせは、当寺までお願い申し上げます。

だいせつぶんえ

だいはんにやだいせじきえ

大節分会、大般若大施食会法要のお知らせ



今年も恒例の行事「大節分会（2/3）」「大般若大施食会法要（3/13）」を当寺にて行います。檀信徒の皆様には詳細が別紙にて通知されるかと思えます。

また特に今年は、大節分会でご祈禱を行う文殊堂の本尊様、中国五台山しょうらいもんじゅぼさつから請来した文殊菩薩様が当地に来られてから10年という節目を迎える年であります。その大節分会には、甘酒はじめ記念品も十分に用意しておりますので、是非とも皆様お誘い合わせの上ご参拝頂きたく思います。

総代長新年挨拶

明けまして、おめでとうございます

旧年中は役員並びに檀信徒の皆様もご協力とご支援を賜り誠に有難く感謝申し上げます。

お蔭様で、除夜会二年詣りも年を追うごとに盛會を極め、喜びにたえない次第であります。

また龍道副住職には嫡男哲道法嗣ようようばんじゃくが誕生され、仁叟寺の前途はまさに洋々磐石、慶賀の至りに存じます。

さて、檀信徒の皆様にご賛助を頂きました仁叟寺史も編纂委員諸先生方けんさんせいれいの研鑽精励の結果、遠からず発刊の運びとなり、これまた深謝の外はありません。

しかしながら、私達を取り巻く社会情勢を振り返ってみますと、誠に厳しいものがあります。昨年は世界的にも天変地異が続発し、我国においても記録的な猛暑や風水害、しかも中越地震など本当に多難な年でもありました。

思えば、私たち人間が、豊かな物質文明を追求する余り、地球の温暖化現象などを引き起こし、自然環境を破壊した結果なのかも知れません。加えて、政治・経済・民族・宗教など様々な対立抗争から世界各地における紛争や混乱は絶えることがなく、慈悲・平等・平和を強調した仏陀の願いとは裏腹の現状を痛感せざるを得ません。

かつまた日本においても、低迷する景気、

道義たいはいの頹廢、激増する様々な犯罪などなど、重大な社会問題が山積して枚挙に暇のない有様でもあります。

今こそ私達は「どうしたら、全ての人々を人生の苦しみから救うことができるか」という痛烈な願いから出家した釈迦の深く篤い思いぼんのう めつきやくに心をいたし、心を汚す

心、三宝（仏の教え）の実践に務めなければ

何故ならば、その平和やあらゆる人々を救う者の生命を大切に

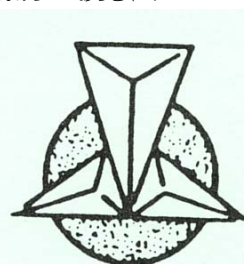
とまれ今年がまた、檀信徒の皆様にとって良い年でありますよう、ご多幸とご健勝を心から祈念して新春の挨拶といたします。

平成16年元旦

仁叟寺総代人一同

（文責、総代長

金子 明）



意専
仏道
。世界
の生
に通



仁叟寺総代人一同

金子 明

森 祐夫

篠崎和男

関口益雄

春山 繁

井上正俊

矢島正義

宮澤二三夫

新井徳衛

行雲流水（編集後記）

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます

さて、昨年を漢字一字で表すと「災」という字が選ばれたそうです。確かに、新潟の地震をはじめ台風や大雨など多くの災害がありました。当寺でも募金という形で、微力ではありますが協力をさせていただきました。被災地域の

皆様の一日も早い復興をご祈念申し上げますと共に、今年は災に代わる明るい漢字が選ばれてもらいたいものです。

南天の実→



編集人 副住職 渡辺龍道